

事務事業名		公共施設(交流センター)修繕事業		所属部	政策企画部	所属課	地域振興課	
総合計画体系	政策名	〈I〉市民と行政の協働によるまちづくり《住民自治》		所属G	地域振興G	課長名	加津山 幸登	
	施策名	〈01〉市民が主役のまちづくりの推進		担当者名	石田 誠	電話番号	0854-40-1013 (内線) 3517	
	目的:対象	市民	意図	まちづくりの課題を主体的に解決する。				
	基本事業名	〈003〉まちづくり活動の環境整備		予算科目	会計	款	大事業	大事業名
目的:対象	市民活動をしている人	意図	活動しやすくする。				中事業	中事業名
				011006	0565		交流センター管理事業	

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (22年度~)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
《内容》 交流センター施設の修繕を行う 《業務の内容》 ①修繕箇所のとりまとめ・調査 ②修繕実施(必要に応じて工事請負契約) ③施工管理 ④検査 ⑤支払い

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	24年度実績(24年度に行った主な活動)	25年度計画(25年度に計画する主な活動)			
		・交流センター施設の修繕 (※各総合センターで実施) ・交流センター施設整備計画策定	交流センター施設の修繕 (※各総合センターで実施)			
	② 活動指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	ア 工事等金額	千円	14,566	23,654	8,867	1,612
	イ					
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	交流センター施設	ア 交流センター施設数	施設	29	29	29	29
		イ					
		ウ					
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	地域自主組織の活動拠点施設として機能回復・向上を図る。	ア 修繕を実施する施設数	施設	10	12	13	3
		イ					
		ウ					

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(24年度決算)	② コストの推移	単位	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(計画)
<<主な修繕工事(1,000千円以上)>> ・春殖;屋根塗装工事 1,155千円 ・斐伊;屋根修繕工事 3,683千円 ※その他 交流センター11施設 4,029千円	財源内訳	千円	13,477	16,805		
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円		2,985	115	
	一般財源	千円	1,089	3,864	8,752	1,612
	事業費計(A)	千円	14,566	23,654	8,867	1,612
	人件	人	4	4	4	
	正規職員従事人数	時間	100	139	147	
	延べ業務時間	千円	389	548	576	
	人件費計(B)	千円	14,955	24,202	9,443	
	トータルコスト(A)+(B)					

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
建設後40年を経過している施設もあり、計画的な施設整備が必要となっている。	計画的な施設整備を行っていきけるよう、交流センター施設整備計画を策定した(H24)。	交流センター施設の整備計画を策定するよう議会から意見があった(H23)。

事務事業名	公共施設(交流センター)修繕事業	所属部	政策企画部	所属課	地域振興課
-------	------------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	施設の老朽対策が課題となっている。交流センター施設整備計画に基づき、効率的かつ効果的な整備を図ることで、向上余地がある。
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	類似する事業がない	
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	雲南市全体の公共施設管理計画を立てることにより、削減される可能性がある。	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がない		
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	必要最小限の関わりをしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	市有施設であり、市が全額負担する。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり
<p>施設の老朽化等により、必要な修繕はその都度実施していかなければならない。ただし、厳しい財政状況の基、財源を効率的に活用するためには、交流センターのみで考えるのではなく、市全体の公共施設修繕計画に基づく整備が必要と考える。</p>			<p>昨年度交流センター施設整備計画を策定したことにより、計画的な施設整備の方針が定まった。今後、これを進めていくためには限られた財源をより効率的に活用していく必要がある。</p>

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上		●	維持		×	低下	×	×
	コスト																		
	削減	維持	増加																
成果	向上		●																
	維持		×																
	低下	×	×																